

会報



校歌 『愛の学び舎』

井田誠一 作詞
宮田 進 作曲

すずかけの 若葉の窓べ
友と語らう 今日のよろこび
平和の小鳩 空たかく
ああ あふれる 智恵の泉
自由の学び舎 八王子学園

武蔵野の みどりの丘べ
友と夢みる 明日のしあわせ
文化の光 野にみちて
ああ きらめく 若き力
自由の学び舎 八王子学園

花かおる 心の広場
日ごといそしむ 愛のまなびや
希望の旅路 雲とおく
ああ はばたく 智恵のつばき
自由の学び舎 八王子学園



ご 挨拶

八王子学園同窓会
会長 濱野 益 男

平素は同窓会活動にご理解とご協力を頂き誠にありがとうございます。

八王子学園は、来年、創立90周年を迎えます。この間、卒業生数は約45,000名を数え、社会の各地、各方面で活躍されて居られ、誠に同慶に耐えません。

私たちの同窓会も昨年75周年を迎えました。この75年の間には、大変大きな戦争という波に見舞われ、生徒は軍事教練、学徒動員等に狩り出され、また在校生の中には、学業半ばに軍隊を志願して戦の場に加わり帰らぬ人となった者も多い。

そして、日本の敗戦による戦争の終結と戦後の混乱期の様々な困難を乗り越えて、現在の八王子学園の礎が築かれ、その後の繁栄につながっていったのである。

しかしながら、世の中が安定し高度成長期に向かう頃から、生徒を取り巻く環境や考え方に変化が現れてきた。そのひとつが大学進学率の向上とプライバシー問題があると思う。

私の卒業した昭和27年頃は、クラスにも依るが半分から7割位が進学だった。その数年後、大学進学率は100%の時代を迎えた。

進学率の向上によりほぼ全員が大学に進む事になると高校生活に対する考え方が変わり、進学のためのプロセスとなり愛着が薄れたという。

卒業にあたり卒業生名簿、住所録などを作っていたが最近では名簿が悪用されないため、また、プライバシーを守るために作らないクラスもあるという。その為卒業後は連絡が取れなくなってしまう。残念なことだ。これらのことが全てではないが、同窓会不参加の要因の一つとなっているようだ。

2～3年前の同窓会総会の日、正面玄関の「同窓会総会」の立て看板を見た高校生女子のグループが「同窓会って何だ」「知らない」と話しているのを聞いて驚いた。以後、壮行会などで生徒たちに挨拶をするときは同窓会の説明をするようにしています。

今年の同窓会定期総会を迎えました。定期総会は、昨年度一年間の活動について、また、新年度の計画等についてご審議いただく年に一度の全体会議の場です。また、会員相互の親睦と交流を図る場でもあります。会員皆様のご参加をお待ちしています。

ご挨拶

学校法人八王子学園

理事長 塚本吉紀

同窓会の皆様にはご健勝にて紅葉を楽しまれたこと、お喜び申し上げます。

私、今年の6月より理事長に就任いたしました。よろしくお願い致します。

今年の夏は雨の日が多く本格的に暑いと感じた日々が少なく秋を迎えてしまいましたが、局地的豪雨の多い年であり、台風が日本を縦断する現象が起きた年でもあり異常気象を感じる年でありました。

同窓会総会にお招きを頂き有難うございます。同窓会には日頃より物心両面でご理解、ご支援を頂いておりますことに感謝を申しあげます。今年度は創立89年目となり改めてここまでの本園の歴史を顧み、しっかりとかみ締め、より充実した本園のモットーである「人格を尊重しよう、平和を心に培おう」への努力を日々の生活の中で、一人でも多くの生徒が心に刻み、自らの育成にも向かって行って欲しいと思います。併せ、教職員が一丸となり支援、援助への言葉かけを適時、的確に丁寧に与えて頂けたらその効果はより浸透したものになっていくと思います。中高校生が意欲を持ち打ち込む学校行事、八学祭では、それぞれの会場で生徒の姿に笑顔と自信と満足感を感じ取ることが出来ました。

私に関わるある会の話ですが、私が八王子学園に勤務していると話す「昨年甲子園に出場した高校だね、確かブラスバンドでも有名だ」「水泳、バスケの強い学校だよ、それと陸上でも活躍していた」「確か昔は柔道が強かったのではない?」「今は進学校であると子どもからも聞いたことがある」と何人かの仲間が言いました。学校の存在がその会の中に存立し、八王子学園の生徒たちの活躍がかなり知れ渡っていることを実感したのです。後輩たちの素晴らしい活躍を精神面、資金面、環境面で応援し、支援から関わりを持つ同窓会の皆さんが後輩の活躍に喜んでおられると思います。在校生が忘れてはならないことは、今までに多くの先輩たちが苦しさに耐え磨いた技術や努力の継続です。その成果が社会で評価されたから、このような話が出てきたことを忘れてはならないと思います。

教育界において最大の課題は少子化問題であると思います。経済への影響はもちろんですが、既に人数確保の厳しさが幼稚園では始まり、小学校でも1クラス的人数が20数名である学級が多くなり、一見学級数では変わらぬが内容には大きな違いが生じています。受験に当たっては受験者が少なくなる方向へ、中高が描いている学力の高い生徒の確保に厳しさが徐々に訪れてくると思われる状況に今後ますます歩むのではないかと思われます。人口が多いことが故、競争と共に自分で自分を磨く向上心や意欲が自然と生まれ、気持ちをしっかりと持ち、達成の難易度が高くともそこを通過する為の学力向上に頑張るものが多かったのではないのでしょうか。少人数になっても自分で自分を磨くことに努力する意欲ある生徒が必ずいるはずです。この意欲を持った生徒が自分の目指す学校として八王子学園を選び受験し、通学してほしいと強く願っています。少子化による八王子学園への影響を先輩の方々の方々の学園への温かい声援を頂きこの課題を乗り越えたいと思っております。

最後になりましたが、同窓会の皆様のご健勝をお祈りし、末永い母校へのお力添えをお願いしご挨拶とさせていただきます。

ご挨拶と本校の現状

八王子学園

八王子中学校・高等学校

校長 小山 貢

同窓会会員の皆様におかれましては、各方面でご活躍のこととお慶び申し上げます。また、本校創立以来、八王子学園八王子中学校・高等学校が発展し今日に至る間、クラブ活動や教育活動などに対する物心両面のご支援を頂き深く感謝しております。

野球部の夏の甲子園は二年連続とはいきませんでした。多数の同窓会の方々が球場に応援に詰めかけていただき感謝に堪えません。

平成24年度に中学校を開校し6年目を迎え、在校生は中学校9クラス243名、高等学校39クラスで中高合計1504名になりました。

創立者市川英作先生の教育理念「人格を尊重しよう・平和を心につちかおう」に基づき、生徒の多様な価値観や将来の希望に合わせて、文理コース（特進クラス・選抜クラス・進学クラス）、総合進学コース（文科系/音楽系/美術系）、アスリートコースの3コース・3クラス・3類系を採用しています。生徒がお互いの価値観や多様性を尊重しながらお互いに切磋琢磨し自立を目指す教育活動を推進するとともに、高いレベルでの文武両道を目指しております。

同窓会の皆様には、今後とも変わらぬご協力とご支援をよろしくお願い申し上げますとともに、ますますの発展をご祈念いたします。

<今春の大学進学結果>

| 大学名 | 合格数 | 大学名 | 合格数 |
|---------|-----|--------|-----|
| 京都大学 | 1 | 早稲田大学 | 16 |
| 一橋大学 | 1 | 慶応大学 | 7 |
| 東北大学 | 1 | 上智大学 | 8 |
| 東京工業大学 | 1 | 東京理科大学 | 20 |
| 東京農工大学 | 2 | 明治大学 | 49 |
| 電気通信大学 | 1 | 青山学院大学 | 25 |
| 東京海洋大学 | 4 | 立教大学 | 12 |
| 東京芸術大学 | 3 | 中央大学 | 53 |
| 筑波大学 | 1 | 法政大学 | 54 |
| 信州大学 | 1 | 日東駒専合計 | 165 |
| 埼玉大学 | 1 | | |
| 横浜国立大学 | 4 | | |
| 首都大学東京 | 5 | | |
| 他の国公立大学 | 12 | | |

定期総会次第

平成29年11月5日(日) 午後1時 開会

司会進行：副会長

- ◎ 開会の辞 八王子学園同窓会 副会長
- ◎ 校歌「愛の学び舎」斉唱
- ◎ 同窓会長挨拶 八王子学園同窓会 会長 濱野 益 男
- ◎ 来賓祝辞 学校法人八王子学園 理事長 塚本吉紀 殿
八王子学園八王子中学校・高等学校
校長 小山 貢 殿
- ◇ 議長等の選任 議長 (高校 回)
書記 (高校 回)
議事録署名人(2名) 濱野 益 男 (高校4回)
新井 雅 之 (高校30回)
- ◎ 議 事
 - 平成28年度 事業報告
 - 平成28年度 決算報告
 - 平成28年度 監査報告
 - 平成29年度 事業計画(案)
 - 平成29年度 予算(案)
 - 援助金支給規定の改正について
 - その他
- ◇ 議長解任
- ◎ 閉会の辞 八王子学園同窓会 副会長

◆ 懇親会(於：富士森会館「海苑」)

平成28年度 事業報告

◎援助金等の贈呈について

母校在校生の芸術、スポーツ等の部門で優れた活動、成果に対して同窓会の事業の一環として行っている援助金等の贈呈。本年度も各部門で在校生の目覚ましい活躍がありました。本会では、「援助金支給規定」によりこれを顕彰した。

◎同窓会々報の発行

平成28年11月1日 同窓会報第18号を発行した。

◎卒業生に記念品の贈呈

「祝卒業 八王子学園同窓会」の銘を入れた電波時計を贈る。また、「同窓会報」を特別に装丁し、卒業生全員に渡した。

◎会議等の開催と参加


- 平成28年11月 6日 第76回八王子学園同窓会定期総会を母校マルチメディア教室で開催。
総会では、平成27年度事業報告、決算報告及び平成28年度事業計画案及び予算案等を審議、承認した。
第二部懇親会を富士森会館「海苑」に会場を移し行った。
- 12月17日 男子バスケット部ウインターカップ出場壮行会 役員が出席した。
- 平成29年 2月24日 同窓会役員会を開催。以下について協議した。
1. 同窓会会計の現状について
 2. 激励金、援助金支給規定の改正について
- 3月 6日 八王子学園八王子高等学校卒業式（オリンパスホール八王子）
同窓会々長より祝辞を贈る。
式典終了後、同窓会役員会を開催。援助金支給規定について協議した。
- 3月13日 同窓会役員会を開催。今後の同窓会運営等について協議した。
- 3月17日 八王子学園八王子中学校卒業式 役員が出席した。
- 4月 6日 八王子学園八王子中学校・高等学校入学式（オリンパスホール八王子）
- 6月16日 同窓会三役会を開催。援助金支給規定等について協議した。
- 7月 8日 陸上部高校総体出場壮行会 役員が出席した。
- 9月16日 同窓会役員会を開催。以下について協議した。
1. 総会後の懇親会々場予約について
 2. 援助金支給規定の改正等について
- 10月13日 平成28年度会計監査の実施。
- 同日 同窓会幹事会を開催。以下について協議した。
1. 同窓会総会の開催について
 2. 援助金支給規定の改正等について
- 10月14日 吹奏楽部全日本吹奏楽コンクール出場壮行会 役員が出席した。

監査報告書

平成 29 年 11 月 1 日

八王子学園同窓会

会長 濱野 益男 殿

監 事 長谷部建司 

監 事 池上洋平 

私共は、八王子学園同窓会の平成 28 年度(第 76 回、平成 28 年 11 月 1 日から、平成 29 年 10 月 31 日まで) 収支報告書について、本日、同窓会事務局内で監査いたしました。

監査の結果、下記のとおりご報告いたします。

記

八王子学園同窓会の平成 28 年度収支報告書は、銀行等通帳、帳簿記録及び証憑書類の記録と一致しており、また、収入及び支出の内容については特に指摘すべき事項はありませんでした。

よって、私共は上記の収支報告書が八王子学園同窓会の収支状況を適正に表示しているものと認めます。

以上

平成28年度(第76回) 八王子学園同窓会収支報告

自 平成28年11月 1日
至 平成29年10月31日

収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 摘 要 |
|-----------|------------|------------|--|
| 前年度繰越金 | 9,663,161 | 9,663,161 | 普通預金(4,648,349円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局) |
| 入会金(終身会費) | 3,801,000 | 3,787,000 | @7,000円×541名 |
| 預 金 利 息 | 400 | 38 | 普通預金利息 |
| 雑 収 入 | 70,000 | 94,000 | 懇親会参加費(@1,000円×94名分) |
| 合 計 | 13,534,561 | 13,544,199 | |

支出の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 決算額 | 摘 要 |
|-----------|-----------|-----------|--|
| 総 会 費 | 650,000 | 611,200 | 総会々食代(28.11.6、於:富士森会館「海苑」)、他 |
| 会 議 費 | 250,000 | 180,010 | 役員会(48,340円)、理事会(44,990円)、三役会(12,630円)、幹事会(74,050円) |
| 印 刷 製 本 費 | 450,000 | 416,372 | 卒業生配布用会報印刷代(213,656円)、総会配布用会報印刷代(173,880円) 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代(28,836円) |
| 事 務 局 費 | 150,000 | 150,000 | 諸経費 |
| 通 信 費 | 110,000 | 111,800 | 幹事委嘱状郵送代(3,920円)、幹事会・総会出欠往復ハガキ代(76,880円) 総会開催通知ハガキ代(31,000円) |
| 交 通 費 | 25,000 | 20,200 | 役員交通費(遠方来校者) |
| 援 助 費 | 2,300,000 | 1,720,000 | クラブ援助金(1,540,000円)、八学杯協賛金(180,000円) |
| 慶 弔 費 | 30,000 | 0 | |
| 諸 会 費 | 20,000 | 0 | |
| 記 念 品 費 | 550,000 | 494,304 | 卒業記念品代(電波時計、@912円×542個) |
| 雑 費 | 50,000 | 0 | |
| 予 備 費 | 300,000 | 0 | |
| 合 計 | 4,885,000 | 3,703,886 | |

| | | | |
|---------|-----------|-----------|--|
| 差 引 残 高 | 8,649,561 | 9,840,313 | 次年度繰越金 普通預金(4,825,501円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局) |
|---------|-----------|-----------|--|

平成28年度 クラブ援助金等内訳

【クラブ援助金内訳】

| | |
|-------------|-------------|
| 吹奏楽部 | 310,000 円 |
| 書道部 | 55,000 円 |
| 陸上競技部 | 485,000 円 |
| 男子バスケットボール部 | 300,000 円 |
| 柔道部 | 50,000 円 |
| 水泳部 | 240,000 円 |
| 野球部 | 100,000 円 |
| 計 | 1,540,000 円 |

【八学杯協賛金内訳】

| | |
|-------------|-----------|
| 男子バスケットボール部 | 60,000 円 |
| 女子バスケットボール部 | 60,000 円 |
| 柔道部 | 60,000 円 |
| 計 | 180,000 円 |

合計 1,720,000 円

平成29年度 事業計画 (案)

例年の同窓会活動を踏襲するとともに、同窓会活動の活性化と効率化を図る活動を進めて参ります。

◎支援金等の拠出について

同窓会の事業として、母校在校生の優れた活動に対し行う援助活動は本年度も継続して実施して参ります。

◎同窓会報の発行

同窓会報第19号を平成29年11月1日に発行します。また3月には新会員用（卒業生用）の会報を作成し、交付する予定です。

◎卒業生に記念品の贈呈

新卒業生に対する記念品の贈呈は、例年の通り本年度も実施の予定です。品物等については、後日、協議の上決定します。

◎会議等の開催

三役会、理事会、幹事会等の会議を開催し、必要に応じ会則の検討、会報発行に係わる委員会を開催します。

同窓会からのお知らせ

◆平成29年度 同窓会定期総会について

下記のとおり開催いたしますので、同窓生の皆様奮ってご参加下さい。

日 時 平成30年11月4日(日) 午後1時より

会 場 母校マルチメディア教室

※総会終了後、懇親会を開催いたします(会費1,000円予定)。

平成29年度(第77回) 八王子学園同窓会収支予算(案)

自 平成29年11月 1日
至 平成30年10月31日

収入の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 摘 要 |
|-----------|------------|--|
| 前年度繰越金 | 9,840,313 | 普通預金(4,825,501円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局) |
| 入会金(終身会費) | 3,738,000 | @7,000円×534名 |
| 預 金 利 息 | 50 | 普通預金利息 |
| 雑 収 入 | 80,000 | 懇親会参加費(@1,000円)、他 |
| 合 計 | 13,658,363 | |

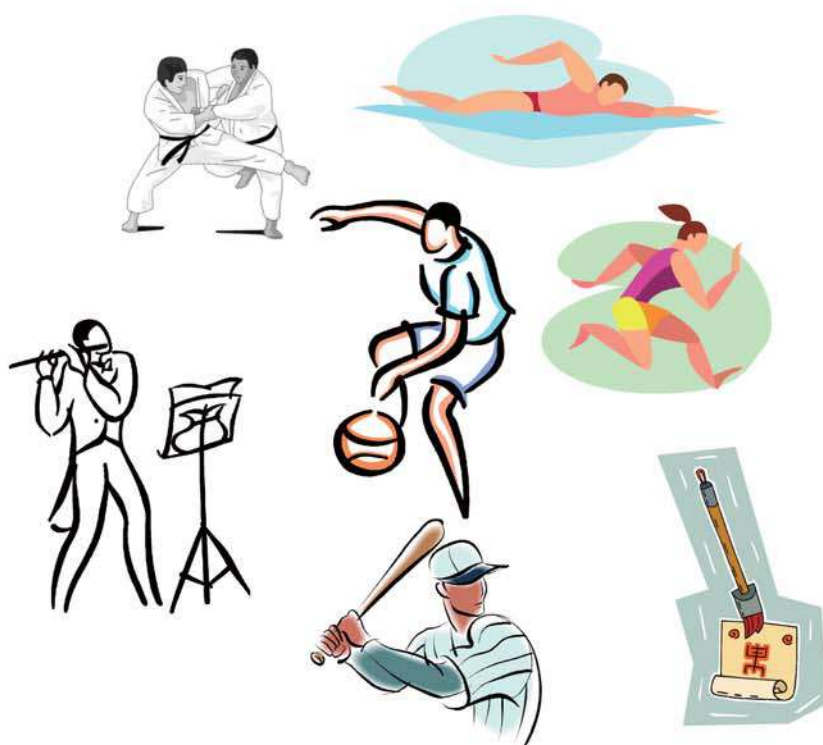
支出の部

(単位:円)

| 科 目 | 予算額 | 摘 要 |
|-----------|-----------|---|
| 総 会 費 | 630,000 | 総会々食代(29.11.5、富士森会館「海苑」)、他 |
| 会 議 費 | 230,000 | 役員会・理事会・三役会・幹事会等会議費 |
| 印 刷 製 本 費 | 430,000 | 卒業生配布用会報印刷代、総会配布用会報印刷代 幹事会・総会出欠往復ハガキ及び総会開催ハガキ印刷代 |
| 事 務 局 費 | 150,000 | 諸経費 |
| 通 信 費 | 120,000 | 幹事委嘱状郵送代、幹事会・総会出欠往復ハガキ代、総会開催通知ハガキ代 |
| 交 通 費 | 25,000 | 役員交通費(遠方来校者) |
| 支 援 費 | 2,000,000 | クラブ支援金、八学杯協賛金 |
| 慶 弔 費 | 30,000 | |
| 諸 会 費 | 20,000 | |
| 記 念 品 費 | 530,000 | 卒業記念品代 |
| 雑 費 | 50,000 | |
| 予 備 費 | 300,000 | |
| 合 計 | 4,515,000 | |

| | | |
|---------|-----------|--|
| 差 引 残 高 | 9,143,363 | 次年度繰越金 普通預金(4,128,551円、都民銀行西八王子支店) 定額郵便貯金(5,000,000円、八王子元横山町郵便局) 郵便貯金(14,812円、八王子元横山町郵便局) |
|---------|-----------|--|

援助費支給クラブの活動報告



同窓会の皆様には、日頃より多大なご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際にはご援助も頂き、重ねて御礼申し上げます。

さて、今年の夏のご報告ですが、まずは8/10(木)～15(火)府中の森芸術劇場で行われた『第57回東京都高等学校吹奏楽コンクール』にA組(55名)・B組(35人)・C組(20人)の全部門に出場致しました。



昨年同様、B組は名誉顧問の高瀬新一郎先生に指揮をとっていただき、A・C組を私が指揮をさせていただきました。今年も全ての組で金賞を受賞、B組は金賞の中でも第1に当たる最優秀賞を受賞し、A組は東京都大会へと駒を進めました。今年例年に比べ部員数が多く、コンクールに出場できないS(サポート)組が19名もいたことで、各組が本番で力を発揮できる大きな要因にもなりました。

そして9/9(土)に行われた『第57回東京都吹奏楽コンクール』に出場しました。会場は、予選と同様府中の森芸術劇場で行われました。この大会は、8月の予選で出場した74校のうち上位12校が出演するもので、どの学校も大変素晴らしい演奏を披露しました。本校は金賞を受賞、全国大会出場権(上位3団体)を獲得しました。また、後に渡される得点表で確認したところ、なんと1位での通過であったことがわかりました。これには正直驚きを隠せませんでしたが、この結果を自信に繋ぎ、全国大会でもさらに良い演奏ができるように磨きをかけていきたいと思えます。



次に、『第30回全日本マーチングコンテスト東京都大会』が8/27(日)に有明コロシアムで開催され、本校は高校以上の部に出場しました。7団体が出場し、本校は金賞を受賞、その他に2団体が金賞を受賞しました。その3つの金賞団体から今年は1団体のみが全国大会出場権を獲得します。結果、本校は2位であったため、全国大会の出場権

は逃してしまいました。例年以上に仕上げてきただけあって、結果発表後は誰もが席から立ち上がれない状況でしたが、この悔しさを次の大会に繋げていこうと誓い合いました。

今年は、本校の歴史の中で5回目となる吹奏楽コンクールの全国大会に出場できます。八学らしい美しい奥深いサウンドを全国の舞台でしっかりと届けられるように、最後まで調整をして金賞受賞を目指します。また、今年も世界的ファッションデザイナー山本寛斎氏のイベントに出演させていただいたり、数々の素晴らしい経験をさせていただいております。



このように、全国区で活動できるのも日頃より厚いご声援をくださる同窓会の方々をはじめ、学校関係者全ての方のお陰と心より感謝申し上げます。その他にも、幼稚園や小中学校、大学、市内外からの依頼演奏等、沢山の本番を控えています。一つ一つの本番を大切に、本気で楽しめる音楽を目指し、持ち前の笑顔で元気に活動してまいりますので、今後とも変わらぬご支援ご指導の程、よろしくお願い致します。

平成 29 年 10 月 1 日

八王子学園八王子中学校八王子高等学校 書道部 平成 28～29 年 活動報告

顧問 安藤和則

コーチ 鈴木希美

同窓会の皆様には平素より多大なご支援をいただきありがとうございます。

以下に平成 28 年 10 月から 29 年 9 月までの書道部活動報告をさせていただきます。部員数は 15 名(内中学生 2 名)で、中学からの内進生の男子 1 名で、他は全て女子です。

●29 年 3 月に卒業した 3 年生は、日本女子大学、亜細亜大学、東京医療学院大学にそれぞれ進学しました。

●28 年 10 月には創玄書道会主催の「第 53 回全国競書大会」に半紙大で出品しました。この展覧会は高校の全学年の芸術書道選択者約 400 名と一緒に参加しました。誌上展ですので展示はなく主催者発行の月刊誌に掲載されました。出品料は 350 円で各自諸経費で徴収しています。

書道部の結果は次の通りです。

28 年 10 月 「全国競書大会」

| | | |
|--------|------|-------|
| 毎日新聞社賞 | 2 年生 | 先崎 莉子 |
| 金剛峯寺賞 | 〃 | 中村 眞彩 |
| 学年優秀賞 | 〃 | 坂村のぞ美 |
| 〃 | 〃 | 蔦木 董 |
| 〃 | 1 年生 | 中居美那子 |
| 大会委員長賞 | 〃 | 手捲 萌乃 |
| 〃 | 〃 | 清水 美羽 |
| 〃 | 〃 | 富元 瑠奈 |
| 奨励賞 | 〃 | 宮本 菜穂 |

☆毎日新聞社賞の先崎さんは部長として頑張っています。作品は東京目白にある創玄会館に展示されました。

●28 年 11 月は毎日新聞社主催の「第 25 回国際高校生選抜書展」通称「書の甲子園」と呼ばれる展覧会で、文字通り中国やインドなど海外の高校生も出品しています。全紙大(137 cm×75 cm)または半切大(137 cm×37.5 cm)と大作品のため、書道部のみが参加しています。出品料は無料ですが、入選すると作品を表装して展示するので、表装料を同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

28 年 11 月 「書の甲子園」

| | | |
|----|------|-------|
| 入選 | 3 年生 | 仲川 千尋 |
| 入選 | 3 年生 | 瀬尾 有紀 |
| 入選 | 2 年生 | 先崎 莉子 |

- 29年3月は「第53回創玄展」と併設している「第53回創玄学生展」に出品しました。高校生は半切大の出品で、日頃の練習を良く活かせました。坂村のぞ美さんの学年優秀賞は快挙です。写真の作品は、上野の東京都美術館に展示されたもので、コーチの鈴木先生が引率し、解説しました。作品の表装料は同窓会から援助して頂きました。結果は次の通りです。

29年 3月 「創玄学生展」

| | | |
|-------|----|-------|
| 学年優秀賞 | 2年 | 坂村のぞ美 |
| 奨励賞 | 2年 | 中村 眞彩 |
| 〃 | 2年 | 先崎 莉子 |
| 特選 | 2年 | 蔦木 董 |
| 〃 | 1年 | 中居美那子 |
| 〃 | 1年 | 手捲 萌乃 |
| 秀作 | 1年 | 小林 杏奈 |
| 〃 | 1年 | 宮本 菜穂 |
| 〃 | 1年 | 清水 美羽 |
| 〃 | 1年 | 富元 瑠奈 |



坂村 のぞ美



中村 眞彩



先崎 莉子



蔦木 董



中居 美那子



手捲 萌乃



宮本 菜穂



清水 美羽



富元 瑠奈

●29年5月は、高野山金剛峯寺主催、毎日新聞社後援の「第52回高野山競書大会」に半紙大の作品を出品しました。この展覧会は書道部のみの出品です。
結果は次の通りです。

29年5月「高野山競書大会」

| | | |
|----|----|-------|
| 会賞 | 3年 | 中村 眞彩 |
| 〃 | 3年 | 先崎 莉子 |
| 推薦 | 3年 | 坂村のぞ美 |
| 特選 | 3年 | 蔦木 堇 |
| 〃 | 2年 | 小林 杏奈 |
| 〃 | 2年 | 中居美那子 |

| | | |
|-----|----|-------|
| 特選 | 2年 | 手捲 萌乃 |
| 〃 | 2年 | 富元 瑠奈 |
| 準特選 | 2年 | 宮本 菜穂 |
| 〃 | 2年 | 清水 美羽 |
| 〃 | 1年 | 中野 克聡 |
| 〃 | 1年 | 魚津菜々美 |

| | | |
|-----|----|-------|
| 準特選 | 3年 | 高橋 まこ |
| 〃 | 中1 | 鈴木 美咲 |
| 〃 | 中1 | 小嶋 小雪 |

●写真集



7月 合宿(河口湖畔にて)



合宿 50畳の広い部屋で、ゆったりと作品制作



書の甲子園に出品したパフォーマンス作品。残念ながら予選突破できず、涙を吞む。

学園祭
毎年大勢の
お客様。



3年生、最後のパフォーマンス。

涙を流しながら書き上げました。

感 謝

八王子学園

柔道部監督 川野 昭吾

八王子学園同窓会の方々におかれましては日頃より柔道部に心温まるご厚情を賜りまして、深く感謝申し上げます。

昭和56年、私が日本体育大学を卒業しまして、この八王子学園に奉職し、同時に柔道部の監督となりまして、今年で37年目を迎え残り少なくなりました指導者人生に悔いを残さない様日々ひとつずつ努力いたしているところです。この36年の間にも歴代の理事長先生・



校長先生をはじめ多くの諸先生方、そして同窓会の諸先輩方にご指導・ご助言を賜りながら歩んで参ることができました。この書面をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。

この36年の間に数多くの教え子達や支援頂ける方々に恵まれ、現在はその方々で組織されている後援会として一致団結の中、私をはじめ柔道部を陰より支えていております。

また、その教え子の中には、昭和60年度卒の小川直也という全日本選手権の5連覇や国内大会のみならずオリンピックや世界選手権で優勝する選手の育成に携わることができ、指導者として最高の幸せを感じております。今でも私の指導者人生の宝物として大切にしております。

また、小川の他にも高校時代に八王子学園の看板を背負ってインターハイや国体、関東大会等で堂々と戦い活躍した教え子達も大勢おり、そのことも指導者冥利に尽きるものであります。

また、昨年度の大学日本一を決める全日本学生体重別選手権におきまして、本校平成24年度卒業の藤阪太郎（国士舘大学4年）が見事優勝、大学生チャンピオンとなりました。この快挙は教え子として小川直也に次ぐ偉業で、大変喜ばしいものでした。その藤阪は学生の大会のみならず、全日本の大会でも活躍し国際大会にも数多く派遣され、次の世代を担うホープとして注目を浴びております。うまく成長を遂げることができれば、藤阪のオリンピック出場となることも夢では無いかと大いに期待しております。

また、OBの有志で創設した川野柔道塾にも30数名の小学生達を加え、現在東京都のトップグループで頑張っております。やがて心身共に健全で強固な人間力を兼ね備えた柔道人の育成に繋がることと考えています。

これからも、今までと変わらぬ精神で日々指導に取り組んで行く所存でありますので、同窓会の方々には変わらぬご支援ご助言を賜りますようお願い申し上げます。

また、前記の教え子達が在学中から卒業後に至るまで活躍した足跡を記載しました。スペースの関係で一部しか記載できませんが、教え子達の血と汗と涙の結晶ですので、ご高覧いただければ幸いかと存じます。

【本校在学時、全国規模以上の大会のみ】

| | | | |
|----------|----------------|-----------|----------------------|
| 昭和 57 年度 | 日米高校対抗試合 | 日本71kg級代表 | 阿部雅人、国際武道大一大成建設 |
| 58 年度 | 日独高校対抗試合 | 日本95kg級代表 | 井上貴史、拓殖大一自営業 |
| 59 年度 | 若潮杯全国招待試合 | 団体戦 | 5 位 |
| 60 年度 | 金鷲旗争奪全国高校柔道大会 | 団体戦 | 9 位 |
| | インターハイ | 男子95kg超級 | 5 位 (小川直也－明治大－格闘家) |
| | 国民体育大会柔道競技 | 少年男子の部 | 優 勝 (小川直也－明治大－格闘家) |
| | 全日本ジュニア選手権 | 95kg超級 | 5 位 (小川直也－明治大－格闘家) |
| 62 年度 | 全国高校柔道選手権大会 | 女子72kg級 | 5 位 (川西栄子－国武大－看護師) |
| 63 年度 | 関東高校柔道大会 | 女子重量級 | 3 位 (川西栄子－国武大－看護師) |
| 平成 元 年度 | 関東高校柔道大会 | 女子重量級 | 3 位 (川西栄子－国武大－看護師) |
| 3 年度 | 国民体育大会関東ブロック大会 | | 4 位 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| | 全国高校柔道選手権大会 | 女子52kg級 | 5 位 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| 4 年度 | 関東高校柔道大会 | 女子軽量級 | 5 位 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| | インターハイ | 女子団体戦 | 3 回 戦 |
| | 国民体育大会関東ブロック大会 | | 4 位 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| | 全国高校柔道選手権大会 | 女子52kg級 | 準 優 勝 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| 5 年度 | 関東高校柔道大会 | 女子軽量級 | 準 優 勝 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| | インターハイ | 女子団体戦 | 3 回 戦 |
| | 国民体育大会関東ブロック大会 | | 4 位 (野崎琴江－学芸大－主婦) |
| 6 年度 | 関東高校柔道大会 | 女子中量級 | 9 位 (小川美奈子－都立短大) |
| 7 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 回 戦 |
| | | 女子中量級 | 5 位 (小川美奈子－都立短大) |
| | | 女子軽量級 | 9 位 (長岡由紀子－栄養士) |
| | 全国高校柔道選手権大会 | 女子56kg級 | 3 回 戦 (小川美奈子－都立短大) |
| | | 女子66kg級 | 2 回 戦 (小林実子－本校事務) |
| 8 年度 | 関東高校柔道大会 | 女子中量級 | 5 位 (田中美穂－淑徳短大) |
| | | 女子軽量級 | 5 位 (長岡由紀子－栄養士) |
| 10 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 回 戦 |
| | | 女子軽量級 | 5 位 (山本良子－桜美林大－主婦) |
| | 全日本ジュニア選手権 | 女子48kg級 | 2 回 戦 (館岡美貴－都立短大－主婦) |
| | 全国高校柔道選手権大会 | 女子48kg級 | 5 位 (山本良子－桜美林大－主婦) |
| 11 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 回 戦 |
| | | 女子軽量級 | 3 位 (山本良子－桜美林大－主婦) |
| | 全日本ジュニア選手権 | 女子48kg級 | 5 位 (山本良子－桜美林大－主婦) |
| 13 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子無差別級 | 5 位 (石倉光彦－横浜桐蔭大) |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 位 |
| | 全国高校柔道選手権大会 | 男子団体戦 | 出 場 |
| 14 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 位 |
| 15 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 出 場 |
| | 全国高校柔道選手権大会 | 男子団体戦 | 出 場 |
| 16 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 位 |
| 17 年度 | インターハイ | 男子60kg級 | 3 位 (高橋 治－国際武道大) |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 準 優 勝 |
| | 国民体育大会柔道競技 | 少年男子の部 | 3 位 (高橋 治－国際武道大) |

| | | | |
|----------|---------------|---------|--------------------|
| 平成 18 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 出 場 |
| | インターハイ | 男子90kg級 | 出 場 (平山涼二ーセントラル警備) |
| 19 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 出 場 |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 位 |
| 20 年度 | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 優 勝 |
| 22 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 回 戦 |
| 23 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 2 回 戦 |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 位 |
| 24 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 回 戦 |
| | インターハイ | 男子60kg級 | 3 回 戦 |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 位 |
| 25 年度 | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 位 |
| 27 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 4 回 戦 |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 位 |
| 28 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 4 回 戦 |
| | 関東高校柔道大会 | 男子無差別級 | 5 位 (戸高竜之介) |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 3 位 |
| | 金鷲旗争奪全国高校柔道大会 | 男子団体戦 | 5 回 戦 |
| 29 年度 | 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 | 2 回 戦 |
| | 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 | 出 場 |
| | 金鷲旗争奪全国高校柔道大会 | 男子団体戦 | 4 回 戦 |

【37年間で関東大会以上の戦績のまとめ】

| | |
|-------------|---------------------------------|
| 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 (20回出場) ※今年度20回出場表彰 |
| | 男子個人戦 (2回出場) |
| | 女子個人戦 (10回出場、うち準優勝1回、3位2回) |
| インターハイ | 女子団体戦 (2回出場) |
| | 男子個人戦 (4回出場、うち3位1回、5位1回) |
| 国民体育大会柔道競技 | 男子個人戦 (2回出場、うち優勝1回、3位1回) |
| 全日本ジュニア選手権 | 男子個人戦 (1回出場、うち3位1回) |
| 全国高校柔道選手権大会 | 男子団体戦 (2回出場) |
| | 女子個人戦 (7回出場、うち準優勝1回、5位2回) |
| | 男子無差別級 (1回出場、9位) |
| 全国体育系高校柔道大会 | 男子団体戦 (10回出場、うち優勝1回、準優勝1回、3位4回) |

【37年間で東京都大会の戦績のまとめ】

| | |
|------------|-------------------------------|
| 関東高校柔道大会 | 男子団体戦 (3位1回、5位14回) |
| | 男子個人戦 (準優勝2回、3位4回、5位15回) |
| | 女子個人戦 (優勝6回、2位5回、3位5回、5位5回) |
| インターハイ | 男子団体戦 (3位4回、5位16回) |
| | 女子団体戦 (優勝2回、2位1回、3位4回、5位2回) |
| | 男子個人戦 (優勝4回、2位1回、3位27回、5位37回) |
| 国民体育大会柔道競技 | 男子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位12回、5位18回) |
| | 女子個人戦 (優勝2回、2位2回、3位5回) |
| 学年別団体戦 | 各学年団体 (準優勝1回、3位10回、5位30回) |

| | |
|-------------|------------------------------|
| 全国高校柔道選手権大会 | 男子団体戦 (3位4回、5位14回) |
| | 男子個人戦 (3位4回、5位5回) |
| | 女子個人戦 (優勝7回、2位13回、3位6回、5位1回) |
| | 男子無差別級 (優勝1回) |

【卒業後のOBたちの活躍、全国規模以上の大会の戦績のみ】

・小川直也(明治大-JRA-格闘家)

全日本柔道選手権大会(連覇を含む多数優勝)、世界柔道選手権大会95kg超級・無差別級(金メダル)
バルセロナオリンピック95kg超級(銀メダル)、他日本のみならず国際級の選手として活躍

・倉吉智宏(日本体育大-京葉ガス)

ベトナム国際柔道大会90kg級(銅メダル)、国民体育大会成年の部(千葉県代表、3位)

・山本良子(桜美林大-主婦)

講道館杯世界柔道選手権国内選考会女子48kg級(出場)

・石倉光彦(横浜桐蔭大-飲食店勤務)

関東学生体重別選手権大会100kg超級(3位)

・斉木敏明(山梨学院大-会社員)

関東ジュニア選手権大会73kg級(優勝)、全日本ジュニア選手権大会73kg級(5位)
関東学生体重別選手権大会73kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権大会73kg級(5位)
講道館杯柔道選手権大会73kg級(5位)

・古田秀州(國學院大-神奈川県警)

東京学生体重別選手権大会100kg級(3位)、全日本学生体重別団体戦(3位)
全国警察官柔道団体戦出場、講道館杯100kg級出場
全国警察官柔道選手権大会100kg級(優勝、警察日本一に輝く)

・高橋 治(国際武道大-千葉県警)

関東ジュニア選手権大会60kg級(3位)、全日本ジュニア選手権大会60kg級(出場)
関東学生体重別選手権大会66kg級(3位)、全日本学生体重別選手権大会66kg級(5位)

・平山涼二(セントラル警備-飲食店)

全日本実業団体体重別選手権大会無差別級(3位)

・野村優貴(国際武道大-川越刑務所)

全日本学生体重別団体戦(5位)、関東学生体重別団体戦(3位)

・有田竜之介(国際武道大学-自衛隊)

香港国際柔道選手権66kg級(金メダル)、関東学生体重別選手権66kg級(優勝)
関東ジュニア選手権66kg級(準優勝)、講道館杯66kg級出場、全日本学生体重別団体戦(3位)

・藤阪太郎(国士舘大学-大阪府警)

全日本学生体重別団体戦(3位)、全国体育系大学66kg級(準優勝)
東京学生体重別選手権66kg級(優勝)、全日本学生体重別選手権66kg級(優勝、学生日本一に輝く)
講道館杯66kg級出場

・安田拓洋(日本大)

東京都ジュニア選手権大会90kg級(5回戦)

毎年の応援に感謝いたします

八王子学園八王子高等学校

陸上競技部顧問 渡邊 大輔

日頃より同窓会の皆様には、関東大会、インターハイ、全国駅伝出場の際に激励の言葉や激励金を戴いたりとお世話になり有難うございます。

昨年度の駅伝、女子においては都駅伝で2位となり、残念ながら全国大会の出場は果たすことができませんでした。しかし、持っている力は発揮できたのではないかと思います。



また、今年度のトラック&フィールドの試合結果は、5月の都総合体育大会では、男子総合3位、女子は3位という結果を残しました。この都大会の結果、千葉県総合スポーツセンターで行われた関東大会には多人数の出場となりました。関東大会では男子7名、女子14名が6位内に入賞し、9種目21名が7月29日から8月2日までNDソフトスタジアム山形で行われたインターハイに出場することが出来ました。インターハイでは、男子4x100mRで6位、女子4x400mRで8位、女子走幅跳で5位と3種目で入賞することができました。他の種目でも、決勝まであと一步の所で涙をのんだ種目も多く、有望な1、2年生が多くいるので、来年は今年より多く入賞することを目標としていきたいと思ひます。

現在、短距離、跳躍においては都新人大会（9月18、23、24日実施）に臨んでいます。この新人大会で3位までの入賞者は、10月に東京で行われる関東選抜新人大会に出場できます。また、10月には日本ジュニア・ユース選手権も愛知県で開催されます。全国レベルの標準記録を突破し14名がエントリーしています。

日本ジュニア・ユース選手権、関東選抜新人大会に出場出来なかった者においては来年の活躍を目指し日々練習に励んでいる毎日です。また、駅伝では、11月3日に行われる都駅伝で、男子においては入賞、女子においては優勝をめざし、関東大会、全国大会出場を目標に練習に励んでいます。

去年、今年と非常に良い流れができていますので、来年度におきましても、今年以上の結果を求め頑張っていきたいと思ひます。今後とも応援の程よろしくお願ひ致します。

【乾坤一擲】【臥薪嘗胆】

男子バスケットボール部
顧問 石川 淳一

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。

今年度は関東大会予選で1点差で敗れ、18年ぶりに関東大会出場を逃し、その後1ヶ月チーム立て直しを図り、インターハイ予選に臨みました。ベスト8決で日本学園との対戦し接戦の末、4点差で勝ちましたが、ベスト4決で京北に敗れインターハイ出場を逃しました。

また、国民体育大会関東ブロック東京代表に2名が選出されました（2年：木村、ババカル）。

今後は11月より始まる高校バスケットボール界の最高峰“ウィンターカップ”、その予選突破と本大会出場を目指し、現在、日々練習に励んでいます。

インターハイ16回出場、関東大会18回出場しておりますが、これからも日々精進し、チームの目標、“全国制覇”“日本一”をもう一度勝ち取る為に、頑張っていきたいと思えます。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしく願いいたします。

八王子学園八王子高等学校
女子バスケットボール部
顧問 宮内 慶喜

同窓会の皆様には、平素より多大なるご支援ご協力を賜り深く感謝しております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、女子バスケットボール部活動の様子をご報告いたします。

今後とも同窓会の皆様方には変わらぬご支援の程よろしくお願いいたします。

◇女子バスケットボール部の紹介

八王子学園八王子中学校・高等学校女子バスケットボール部は『心をひとつに』をモットーにインターハイ出場を目指し、毎日練習を重ねています。是非、声援をお願い致します。

※チームニックネーム『superbees』（蜂のようにうるさいディフェンスを目指します）

◇本校高校女子バスケットボール部も新1年生が5名入部し、2年生が10名、3年生が10名の総勢25名の大所帯になりました。みんな関東大会本大会出場、そしてインターハイ出場を目指して頑張っています。是非応援よろしく願いします。

◇平成27年度関東大会出場！

平成27年5/5・5/6に実施された、東京都女子バスケットボール関東大会東京都予選において第8位となり山梨県富士吉田市で実施された第69回関東高等学校女子バスケットボール選手権大会へ11年ぶり5回目の出場を決めました。

6/6に実施された本大会では、埼玉代表の昌平高等学校と対戦し71-89で一回戦敗退となりました。対戦相手は準優勝を果たす強豪でしたが、いわゆるスポーツ推薦がない当部にとってはよく頑張れた結果だと思います。これからも毎年関東大会へ出場できるチームになれるよう頑張っていきます。

◇八王子市内大会優勝

春季・秋季の年二回開催される八王子市内女子バスケットボール大会では、出場18チーム中11年に渡り春季・秋季とも優勝を重ねています。今秋も10/1に実施された秋季大会では、優勝を果たしました。

◇新人戦大会始まる

今年度のチームは、現在東京都でベスト16のランキングに位置しています。11/3より始まる新人戦大会では東京都ベスト4を目指して頑張ります。

応援よろしくお願いいたします。



2017年 水泳部の活動報告

八王子学園八王子高等学校

水泳部顧問 前田 彩子

2017年9月1日の始業式から現在の2年生と3年生の新たなチームで活動を開始し、その月の下旬に行われた東京都高等学校新人水泳競技大会では、新チームとして初めての試合に臨みました。

男女の新キャプテンのもと、個人の自己新記録更新は勿論、チームとして準備・応援・レースをし、全員が少しでもチームに貢献出来るよう一生懸命取り組みました。この試合の結果は、団体で男子・女子総合優勝をしました。



2017年4月男子8名・女子4名の新入部員を迎え、男子20名・女子21名の41名で1年生から3年生まで揃ったチームがスタートしました。今年の3年生を中心に全体でまとまったチームになれるように何度もミーティングを重ね、東京都男女総合優勝を目標に掲げました。

5月のGW合宿では2年生が中心となって後輩の指導をしますが、これから始まる各大会に向けて1年生と2年生の絆も強まり新たな目標を得ることが出来ました。

今年度は東京都高等学校選手権大会において、男女総合優勝、インターハイのリレー種目、男子3種目・女子2種目決勝進出を目標に掲げました。

4月13日～16日、日本最高峰の試合・第92回日本選手権水泳競技大会（今年は愛知県にて開催）に3年14組の小川真菜と2年12組の浅羽栞、1年9組小林楓、1年13組荒井悠太、西田大晟が出場しました。浅羽栞は200m平泳ぎで8位という結果を残しました。

5月19日～21日、日本水泳連盟主催のジャパンオープンに3年14組尾山武、小川真菜、奈須田ゆうか、2年12組の浅羽栞、1年13組西田大晟が出場しました。オリンピック選手など多くの選手が出場する中、浅羽栞は100m平泳ぎで7位、200m平泳ぎで8位という結果を残しました。

6月24・25日、東京都高等学校選手権水泳競技大会・兼関東高等学校選手権水泳競技大会予選が東京辰巳国際水泳場で行われました。昨年より、男子・女子総合優勝という目標に向けて頑張った結果、男子総合2位、女子総合優勝をすることができました。この大会の結果、関東大会には男女合わせて27名の選手が出場権を得ることができました。

7月22日～24日に栃木県温水プール館にて関東高等学校選手権水泳競技大会兼日本高等学校選手権水泳競技大会予選（インターハイ予選）が行われました。その結果、男子12名・女子13名、合計25名の選手がインターハイの出場権を得ました。全国でも参加人数は2・3番目に多い学校となっています。

8月17日～20日に全国高等学校総合体育大会が宮城県セントラルスポーツG21プールにて行われました。結果、3年14組の小川真菜が女子100m背泳ぎで5位、200m背泳ぎで4位、2年12組の浅羽栞が女子100m平泳ぎで3位、女子200m平泳ぎで2位でした。女子400mメドレーリレーでは、昨年より3位入賞を狙い努力してきましたが今年は惜しくも4位という結果でし

た。その他にも、3年14組の奈須田ゆうかが100m平泳ぎで、3年14組の尾山武が200mバタフライで、3年14組の本間尚輝が100mバタフライでB決勝に進み、学校得点にも貢献しました。今年度は女子が総合で7位入賞をとる結果を残すことが出来ました。

東京都の高校在籍生徒で4月の試合からインターハイまでの各種大会の記録を参考に国体選手が選考されましたが、本校からは3年14組の尾山武、小川真菜、2年12組の浅羽菜、1年13組の西田大晟、松浦麻理亜の5名が東京都代表選手として選ばれました。結果は、3年14組の小川真菜が少年A200m背泳ぎ4位、400mメドレーリレー（第1泳者）1位、2年12組の浅羽菜が少年A200m平泳ぎ2位、メドレーリレー（第2泳者）第1位、1年13組の松浦麻理亜が少年B100m自由形7位・少年B400mリレー（第2泳者）第2位で、東京都に貢献出来ました。

8月25日に行われました三多摩大会では、今年も男子総合優勝を果たすことが出来ました。これで男子は46連覇になります。

2017年度のチームはこの大会をもって終了し、2018年度の男女の新キャプテンに9月1日から引き継がれました。

9月23日・24日に新チームのもとで行われました新人戦では、男子総合2位、女子総合優勝し、良いスタートを切ることができました。今回の大会は、平泳ぎの選手が自由形に挑戦したり、自由形の選手がバタフライに挑戦するなど各選手が自分の種目以外の新たなものにも挑戦する機会ともなる大会です。これらを踏まえ、来年のリレーメンバー等も考えていく予定です。

本校水泳部のチーム作りは「憧れをもたれる先輩になれ」を目標に、指導をしています。上級生が自覚をもって下級生に手本となるような行動ができれば必ず良いチームとなり、結果に繋がります。今年度のチームは3年生がまずまとまり、上級生として模範となる行動できるよう3年生全体で何度もミーティングを重ねるところから始まりました。その努力や競技結果から下級生は刺激を受け、来年に向けた目標を新たに持つことが出来ました。

最後に、多大なご支援を頂いた八王子学園同窓会の皆様方に深く感謝申し上げます。2018年度に向け気持ちを引き締め、来年度は東京都で男女総合優勝できるよう頑張りたいと思いますので更なるご支援とご協力をお願い致します。



甲子園“1勝”をめざして

八王子学園八王子高等学校

野球部監督 安藤 徳明

同窓会の皆様には日頃より多大なご支援とご協力を賜り深く感謝いたしております。また、各大会出場の際は貴会より援助金を授かり重ねて御礼申し上げます。

さて、野球部の昨年秋から一年間の活動報告をいたします。

昨夏の選手権大会西東京大会を制して、甲子園初出場を果たしてから1か月が経った9月、甲子園出場メンバー5人が残る新チームの公式戦が、平成28年度秋季東京都大会一次予選(ブロック予選)から始まりました。1回戦、初戦の相手は葛飾商です。結果6対0で勝利し、駒を進めました。次の試合は、本大会出場のかかるA代表決定戦で、相手は小松川です。結果4対0で勝利し、2年ぶりの本大会出場を決めると同時に、平成29年度春季東京都大会本大会の出場も決めました。

10月、秋季大会本大会が始まりました。1回戦の相手は明大中野八王子です。八王子私学リーグの1校であるし、こここのところ毎年のように大会のどこかで対戦する相手でもあるので、互いに手の内を知り合えていると言っても過言ではないでしょう。雨天中止で3日後の平日に順延されたこの試合、先発ピッチャー早乙女大輝(2年)の不安定な立ち上がりを攻められ、序盤で2点リードされました。5回表、先頭の8番野村悠仁(2年)がセンター前へヒットを打ち出塁、送りバント、四球、3番高橋裕汰(2年)の内野安打などで二死満塁にすると、4番安羅岡壘斗(1年)の死球で押し出し、ようやく1点を返しました。6回表、先頭の6番雨宮諒也(2年)がセンター前へヒットを打ち出塁すると、続く7番初鹿野滉平(1年)の右中間を破る三塁打で生還、8番野村悠仁(2年)は四球で歩き無死一、三塁、9番早乙女のセンターへの犠牲フライで逆転、2番加藤大翔(2年)の四球、3番高橋のセンターオーバーの三塁打で2点を追加し、5対2としました。7回裏に三塁打とセンター前ヒットで1点を返されたものの、9回表、この日3安打と当たっている初鹿野の二塁打などで2点を加え、結果7対3で勝利し、2回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は雪谷です。1回表、1番主将の櫻井陸朗(2年)が左中間を破る三塁打を打ち、2番加藤大翔(2年)の四球、3番高橋裕汰(2年)のレフト前ヒット、4番安羅岡壘斗(1年)のライト前ヒット、5番山崎智也(2年)の四球などで3点を先制、さらに2回表には、一死から2番加藤がレフトオーバーの二塁打を打ち、3番高橋の四球、5番山崎の四球などで二死満塁とし、6番雨宮諒也(2年)のセンター前ヒットで2点を加えて5対0、序盤で試合の主導権をほぼ手中に納めました。先発したピッチャー早乙女大輝(2年)は、前の試合の反省からか、低めへのコントロールを重視し、変化球を織り交ぜながら打たせて取るピッチングを展開した。7回表、一死満塁から代打渡部竜平(2年)のセンター前ヒットで2点、さらに二死満塁となって2番加藤の右中間を破る走者一掃の二塁打で3点を加えて10対0にし、7回コールド勝ちで3回戦へ駒を進めました。

3回戦の相手は強豪校の帝京です。序盤は、互いに走者は出すものの決め手に欠き投手戦が続きました。4回表、一死から先頭の7番雨宮諒也(2年)がセンター前へヒットを打ち出塁、続く8番早乙女大輝(2年)のショートゴロで二塁に進み、9番野村悠仁(2年)のセンター前ヒットで雨宮が二塁から一気に生還して1点を先制、均衡が破れました。先発ピッチャー早乙女大輝(2年)は、腕がよく振れ、緩急を交えた投球で、走者はだすものの要所要所を締め、相手打線をよく抑えました。7回表、先頭の3番

高橋裕汰(2年)の内野安打, 4番安羅岡壘斗(2年)の四球などで一死二、三塁とし, この試合6番に入った主将の櫻井陸朗(2年)が左中間フェンスを越えるホームランを放ち3点を追加しました。9回表も2本のヒットと8回から登板した相手ピッチャーの暴投で1点を加え, 結果5対0で勝利し, 準々決勝へ駒を進めました。

準々決勝の相手は日野です。先発ピッチャー早乙女大輝(2年)が初回から相手打線につかまり, 2本のヒットと二塁打, 3ランホームランなどで一挙に6点を奪われてノックアウト, 序盤から苦しいゲーム展開となりました。2回表に5番山崎智也(2年)のレフトへのソロホームラン, 3回表には2番加藤大翔(2年)のライト前ヒット, 3番高橋裕汰の四球などで一死一, 二塁とし, 5番山崎のレフト前ヒット, 7番熊澤諒太(2年)のライト前ヒットで2点をとり, 3点差に詰め寄りました。しかし, 3回裏, 早乙女をリリーフした米原大地(2年)も相手打線につかまり, 5本のヒットを打たれて3点を奪われ, 3対9とリードを広げられました。4回裏にも1点を奪われて, 米原も降板した。相手の打線は粘り強く, 手をゆるめることなく5回裏にも2点を加えられて, 試合の主導権を完全に握られました。結果, 3対12の7回コールド負けを喫してしまいました。敗因としては, 早乙女, 米原が本来のピッチングができなかったこと, 走者を出すのが得点に結びつかない攻撃, 相手の得点につながる守備のエラーなどが挙げられます。投打・攻守のバランスが崩れた試合内容・試合展開で, チームの立て直しを余儀なくされた試合でした。

年度が変わった4月, 春季本大会が始まりました。前述しましたように, 前年度の秋季大会一次予選で勝ち上がり, ブロックのA代表校に決まりましたので, 秋季大会本大会はもちろん, 春季大会本大会の出場も同時に決まっていたので, 3月中旬の一次予選は戦っていません。本大会は2回戦から出場です。初戦の相手は, 東亜学園です。1回表, 一死二塁から3番で主将の櫻井陸朗(3年)がレフトスタンドへホームランを放って2点を先制, その後も打線がつながり6番米原大地(3年)の左中間を破る二塁打などで3点を加えました。2回表にも1点をとり, 3回表には6番米原がセンター前ヒットを放って出塁すると, 打線がつながり, 2番加藤大翔(2年)のレフト前ヒットなどで一挙に5点を追加して11対0, 試合の主導権を完全に握りました。5回表, 一死満塁から3番櫻井がこの試合2本目となるホームランを放ち, 結果15対0の5回コールドで勝利し, 3回戦へ駒を進めました。

2回戦の相手は, 桜美林です。1回表は相手のミスで1点を先制すると, 2回表には7番初鹿野滉平(2年)がライトスタンドへホームランを放って1点を加えて2対0としました。しかし, 3回裏, 先発ピッチャーの早乙女大輝(3年)が2番打者にレフトスタンドへ3ランホームランを打たれ, 2対3と逆転されました。4回表, 3つの四球でチャンスをつくり, 二死満塁から前の試合でホームランを2本打った3番で主将の櫻井陸朗(3年)がセンター前へヒットを放つと, 2塁ランナーも生還して2点が入り逆転に成功, さらに打線がつながり2点を加えて6対3としました。相手打線も粘りがあり, 5回裏に1点を返され, 8回表に4番熊澤諒太(3年)のセンターオーバーの二塁打などで1点を加えて突き放しにかかると, その裏, 早乙女をリリーフした米原が相手の3番打者にソロホームランを打たれてさらに1点を返されました。結果7対5で勝利し, 4回戦へ駒を進めました。と同時にベスト16入りしましたので, 夏の選手権大会のシード権を獲得しました。この試合, 打線がつながり状態が上向きになってきましたが, ピッチャー陣が今一つでピリッとせず, 本調子ではない感じがして, これから先の試合に勝ち続けられるか不安な気持ちを抱きました。

3回戦の相手は, 駒大高です。1回裏, 二死一, 三塁から5番山崎智也(3年)のセンター前ヒットで1点, 2回裏は一死満塁から2番加藤大翔(3年)のセンター前ヒットで1点を加えて, 序盤は2対0とした。先発ピッチャー早乙女大輝(3年)は3回をノーヒットで抑えましたが, 4回表, 先頭打者に振り

逃げで出塁を許すと、続く打者のサードゴロで併殺が取れず一死一塁、続く打者にライト前へヒットを打たれて一死一、二塁とピンチが広がりました。このころから雨脚が強くなりはじめ、早乙女のもつ制球力が狂い始めたのか、続く打者に二塁打、そして三塁打を打たれて逆転されました。さらに2つの四球を与えるなどして一死満塁の大ピンチになり、マウンドを米原大地(3年)に託しました。しかし、代わった米原もピリッとせず、暴投、ライト前ヒットで3点を奪われ、この回一気に7点を入れられました。その裏、3番で主将の櫻井陸朗(3年)の三塁打で1点を返し、5回裏には2つの四球とショートが悪送球などでさらに2点を返して5対7とし、2点差に迫りました。5回が終わったところで、降り続く雨のため試合は約40分中断しました。試合再開後も雨が強くなったり弱くなったりを繰り返し、試合自体も落ち着かなくなってきました。7回表、2つの四球を与えて無死一、二塁とされ、4番に入る相手ピッチャーにセンターオーバーの三塁打を打たれて2点を入れられ、リードを広げられた。8回裏、死球、四球などで一死一、二塁とし、6番米原ライト前ヒットで1点を返し、続く7番初鹿野滉平(2年)の四球で一死満塁とチャンスが広がりましたが、後続が凡退して追加点は入りませんでした。結果、6対9で敗れました。雨天の試合で、ピッチャーも野手も落ち着きを失い、持てる力を十分に発揮できなかったところは、これから夏の大会へ向けての課題となりました。雨も味方についてくれない、ふがない試合でした。

7月、第99回全国高等学校野球選手権大会西東京大会が始まりました。春季東京都大会の結果によって、この大会では第5シードとなり、3回戦からの出場となりました。初戦の相手は中大付です。2回表、四球と2本のヒットなどで1点を先制され、3回からは、本来の調子が出ない先発ピッチャーの米原大地(3年)に代わって、古市哲也(3年)がマウンドに上がりました。古市は、3回、4回をノーヒットに抑え、4回裏、一死後、6番古市がサードへの内野安打で出塁すると、7番初鹿野滉平(2年)のセンターオーバーの三塁打で1点を返して同点、さらに四球と2本のヒットなどで2点を加えて逆転に成功しました。5回裏、相手守備の乱れや7番初鹿野のこの日2本目の三塁打などで3点を加え6対1とし、試合の主導権を握りました。6回裏に1点、8回裏には一死二塁から5番越村周(2年)の左中間を破る二塁打で1点が入り、結果8対1の8回コールドで勝利し、4回戦へ駒を進めました。

4回戦の相手は、明星です。1回表、1番高橋優介(1年)のサードへの内野安打、四球、5番熊澤諒太(3年)のレフト前ヒットなどで二死満塁とし、6番初鹿野滉平(2年)のセンター前ヒットで1点を先制、続く7番越村周(2年)がライトフェンスを越える満塁ホームランを放ち、この回5点をとりました。先発ピッチャーの村田将輝(3年)は、初回の先頭打者にセンター前ヒットを打たれた以外は走者を出さず、公式戦初先発とは思えない落ち着きある見事なピッチングで相手打線を完璧に抑えました。5回表に2本の二塁打で1点を追加し、6回表には、一死二塁から9番村田のセンター前ヒット、2番加藤大翔(3年)のレフトオーバーの二塁打、4番で主将の櫻井陸朗(3年)のレフトスタンドに飛び込む3ランホームランなどで一気に6点をとり、結果12対0の6回コールド勝ちを収め、5回戦へ駒を進めました。この試合、先発したピッチャー村田の活躍や、4打数4安打の高橋優介と好守備をみせた黒田将希の1年生コンビの活躍がチームにさらなる勢いをもたらしました。

5回戦の相手は、創価です。昨年夏の西東京大会では準決勝で対戦し勝利した相手です。1回表、2本のヒットと四球で無死満塁とするが、併殺打の間の1点にとどまりました。4回は互いに1点ずつを入れて2対1となり、8回表に2本のヒットなどで1点を追加して3対1とし、2点リードしました。4回裏に1点を失ったものの、相手打線を4安打に抑えていた先発ピッチャー村田将輝(3年)が8回裏につかまりました。一死後、二塁打とレフトスタンドへのホームランで同点に追いつかれ、二死後、四球と三塁打で1点を入れられて逆転されました。9回表、代打攻勢をかけて一死満塁とし、1番高橋優

介(1年)のレフトへの犠牲フライで1点を返して、土壇場で同点に追いつきました。14回、互いに1点をとるが、勝ち越し点をとるまでには至らず、15回を終了しました。4時間を超える白熱した試合は決着がつかず、結果、延長15回5対5の引き分け、翌日に再試合することになりました。チームは、勝ち切る術をまだ持っていませんが、試合を最後まで諦めない粘り強さが出てきたように思えます。

再試合。1回表、1番高橋優介(1年)がレフト前へヒットを放って出塁、送りバントなどで二死三塁とし、4番で主将の櫻井陸朗(3年)がレフト線へ二塁打を放ち1点を先制しました。この試合先発したピッチャーは、背番号9をつけた左腕の高橋裕汰(3年)で、4回まで創価打線をノーヒットに抑え、5回裏、ヒットと四球、送りバントで一死二、三塁とされたところで、前の試合で好投した村田将輝(3年)にマウンドを託しました。その後、村田は四球などで走者を出すものの、要所を締めて創価打線をノーヒットに抑えました。7回表に1点を追加し、8回表には、一死から4番櫻井がレフト線へ二塁打を放ち出塁すると、続く5番熊澤諒太(3年)がライト線へ二塁打を放って1点を入れ、さらに二死三塁から7番越村周(2年)のセンター前ヒットで1点を加えて4対0としました。9回裏、創価は二死二、三塁としてこの試合初めてのチャンスを迎えますが、5番打者が三振して試合終了、結果4対0で勝利し、準々決勝へ駒を進めました。

準々決勝の相手は、明中八王子です。またです。雨が降る中、試合が始まりました。1回表、先発ピッチャー高橋裕汰(3年)は、2死から連続ヒットを打たれましたが、後続を抑えました。1回裏、二死三塁から4番で主将の櫻井陸朗(3年)のライトオーバーの二塁打で1点を先制すると、5番熊澤諒太(3年)のレフトへの二塁打で1点を加え、さらに6番初鹿野滉平(2年)のレフト前ヒットでもう1点を加えました。しかし、2回表、ピッチャー高橋の調子が今一つで、先頭打者に四球を与えると、三塁前のバントをサード加藤大翔(3年)が足を滑らせ内野安打に、続く打者のバントも内野安打、さらに一塁への送球が悪送球になって1点を返され、一死後、ピッチャー高橋はマウンドを古市哲也(3年)に託して降板しました。ここで雨脚が強まり、試合が中断した。50分後に試合が再開し、その直後、ヒットを打たれて2点を奪われ同点に追いつかれました。2回裏以降、走者を出すものの、あとヒット1本が出ない状況が続きました。6回表、ヒット、四球、悪送球、犠牲フライで1点を失い、二死一、三塁になったところでピッチャーを村田将輝(3年)に交代しました。その直後、サードへの強襲ヒットでもう1点を失いました。7回表、先頭打者にレフト線への二塁打を打たれ、一死後、ライトスタンドへ2ランホームランを打たれて3対7とされ、リードを広げられました。その裏、雨のせいなのかどうかわかりませんが、先発した相手エースピッチャーが突然乱れだし、3人続けて四死球で無死満塁、7番越村周(2年)のレフト前ヒットで1点を返し、勝負どころとみて代打攻勢をかけ、4点を奪い逆転に成功、さらに2番加藤大翔(3年)のセンター前ヒットで1点を加え、一死一、二塁から4番櫻井3ランホームランで一挙に9点を取り、試合の主導権を握りました。8回からマウンドに米原大地(3年)が上がりましたが、ヒット、四球、二塁打などで1点を失い、調子が今ひとつといったところでした。結果12対8で勝利し、準決勝へ駒を進めました。

準決勝の相手は、好打者であり注目の清宮幸太郎が主将としてチームを引っ張る早稲田実です。昨年夏の西東京大会では準々決勝で対戦し勝利した相手です。1回表、先発したピッチャー米原大地(3年)は、相手1番打者に死球、続く2番打者に四球と、緊張しているのか立ち上がりから不安定なピッチングで、無死一、二塁で3番清宮と対戦。ここはセカンドゴロに仕留めますが、その後二死満塁となり、自らの暴投で1点を先制されました。3回表、一死後3番清宮が四球で出塁、続く4番野村に二塁打を打たれ、一塁走者清宮が一気に生還して1点を加えられました。その裏、8番黒田将希(1年)がセンター前ヒットで出塁すると、送りバントで一死二塁、1番高橋優介(1年)が四球、2番加藤大

翔(3年)も四球で一死満塁になりました。相手ピッチャーの暴投で1点を返し、一死二、三塁から3番高橋裕汰(3年)のファーストゴロで、三塁走者加藤が本塁に突っ込みますがタッチアウトとなり、同点には追いつきませんでした。その後、膠着状態が続いて0が並びました。7回表、先頭の3番清宮に、高校通算107本目となるホームランを左中間スタンドに打たれました。スタンドの多くの観客から大きなどよめきが起こり、そしてそれが歓声へと変わって、何か球場全体が早稲田実を応援するような雰囲気包まれたような感じがしました。試合自体もこの一発で試合の流れが早稲田実の方へ傾いたように思えました。8回表、米原に代わってマウンドに立った村田将輝(3年)を相手打線が攻め、2本のヒットなどで1点を加えられ1対4とされました。9回裏、二死一、二塁から代打山崎智也(3年)が打席に立つが、見逃し三振でゲームセット、結果1対4で敗れてしまいました。この試合、相手ピッチャーの打たせて取るピッチングに上手くはめられて、四死球は7つありましたが、ヒット2本と抑え込まれてしまいました。夏の大会2連覇を目指して臨んだ大会でしたが、けが人や故障者が多く、チーム一丸となって思う存分戦えなかったことや、練習で取り組んできたことが試合で発揮できなかったことが大きな敗因だったのではないかと思います。また、選手個々のレベルアップも今後の課題として取り組んでいきたいと思いました。

現在の部員数は、現役を退いた3年生24人を除いて、2年生25人、1年生28人、そして女子マネージャー2年生2人、1年生3人の計58人です。今夏の西東京大会での悔しい敗戦から2か月間、投手力はもちろんのこと打撃力や守備力のレベルアップ、部員一人ひとりのレベルアップなどを図り、練習内容をより充実させて毎日遅くまで練習に取り組んできました。また、8月上旬の私学リーグ、8月中旬の関西遠征など、強豪校を相手に練習試合を数多くこなして実戦力を磨き上げてきました。

平成29年度の秋季東京都大会は、9月9日から一次予選が始まり、わが野球部は、一次予選を勝ち上がって本大会への出場を決めました。10月2日の抽選会を経て、7日から本大会が始まり、熱戦が繰り広げられます。自分たちも絶対に甲子園に行きたいという2年生メンバーに、実力派ぞろいの1年生が加わった新チームが、これからの大会で大いに躍動します。甲子園“1勝”をめざして、また、『必勝 ありんこ軍団』を合言葉にして、指導者、選手、ベンチ、スタンドが一体となった「全員野球」で各大会に臨む所存でございます。

今後とも、同窓会の皆様方には相も変わらぬご支援とご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



《戦績》

◇平成28年度 秋季東京都高等学校野球大会 一次予選

第16ブロック 1回戦 28.9.10 於：八王子高校柚木野球グラウンド

葛飾商 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

八王子 0 4 0 2 0 0 0 0 0 6

投手—捕手：早乙女(2年)—渡部(2年)、野村(2年)

第16ブロック A代表決定戦 28.9.18 於：八王子高校柚木野球グラウンド

八王子 0 2 0 0 0 0 1 0 1 4

小松川 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

[本大会出場へ]

投手—捕手：早乙女(2年)—野村(2年)

◇平成28年度 秋季東京都高等学校野球大会 本大会

1回戦 28.10.11 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子 0 0 0 0 1 4 0 0 2 7

明中八王子 1 0 1 0 0 0 1 0 0 3

投手—捕手：早乙女(2年)—野村(2年)

2回戦 28.10.16 於：八王子市上柚木公園野球場

八王子 3 2 0 0 0 0 5 1 0

雪谷 0 0 0 0 0 0 0 0 (7回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)，古市(2年)—野村(2年)

3回戦 28.10.22 於：神宮第二球場

八王子 0 0 0 1 0 0 3 0 1 5

帝京 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0

投手—捕手：早乙女(2年)—野村(2年)

準々決勝 28.10.29 於：神宮第二球場

八王子 0 1 2 0 0 0 0 3

日野 6 0 3 1 2 0 × 1 2 (7回コールド)

投手—捕手：早乙女(2年)，米原(2年)，古市(2年)—野村(2年)

◇平成29年度 春季東京都高等学校野球大会 本大会

2回戦 29.4.5 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子 5 1 5 0 4 1 5

東亜学園 0 0 0 0 0 0 (5回コールド)

投手—捕手：早乙女(3年), 古市(3年), 米原(3年)—越村(2年)

3回戦 29.4.5 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子 1 1 0 4 0 0 0 1 0 7

桜美林 0 0 3 0 1 0 0 1 0 5

投手—捕手：早乙女(3年), 米原(3年)—越村(2年), 野村(3年)

4回戦 29.4.7 於：ダイワハウススタジアム八王子

駒大高 0 0 0 7 0 0 2 0 0 9

八王子 1 1 0 1 2 0 0 1 0 6

投手—捕手：早乙女(3年), 米原(3年)—越村(2年), 野村(3年)

◇第99回全国高等学校野球選手権大会 西東京大会

3回戦 29.7.16 於：ダイワハウススタジアム八王子

中大付 0 1 0 0 0 0 0 0 1

八王子 0 0 0 3 3 1 0 1× 8 (8回コールド)

投手—捕手：米原(3年), 古市(3年)—越村(2年)

4回戦 29.7.18 於：ダイワハウススタジアム八王子

八王子 5 0 0 0 1 6 1 2

明星 0 0 0 0 0 0 0 (6回コールド)

投手—捕手：村田(3年)—越村(2年)

5回戦 29.7.22 於：府中市民球場

八王子 1 0 0 1 0 0 0 1 1 0 0 0 0 1 0 5

創価 0 0 0 1 0 0 0 3 0 0 0 0 0 1 0 5 [再試合]

投手—捕手：村田(3年), 早乙女(3年), 古市(3年)—越村(2年)

5回戦[再試合] 29.7.23 於：府中市民球場

| | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 八王子 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 0 | 4 |
| 創価 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |

投手—捕手：高橋[裕](3年)，村田(3年)—越村(2年)

準々決勝 29.7.26 於：神宮球場

| | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|----|
| 明中八王子 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 2 | 2 | 1 | 0 | 8 |
| 八王子 | 3 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 9 | 0 | × | 12 |

投手—捕手：高橋[裕](3年)，古市(3年)，村田(3年)，米原(3年)—越村(2年)

準決勝 28.7.28 於：神宮球場

| | | | | | | | | | | |
|-------------|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 早稲田実 | 1 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 4 |
| 八王子 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 |

投手—捕手：米原(3年)，村田(3年)—越村(2年)

八王子学園同窓会役員名簿

平成29年11月5日 現在

◇八王子学園同窓会役員（平成28年11月6日就任）

| 役職 | 氏名 | 卒業回 | 卒業年 |
|-----|--------|------|-------|
| 会長 | 濱野 益男 | 高4回 | 昭27年卒 |
| 副会長 | 山口 善衛 | 旧4回 | 昭15年卒 |
| 〃 | 福与 孫十 | 高1回 | 昭23年卒 |
| 〃 | 坂本 利男 | 高8回 | 昭31年卒 |
| 〃 | 根本 明 | 高16回 | 昭39年卒 |
| 〃 | 中島 憲 | 高17回 | 昭40年卒 |
| 〃 | 山田 実 | 高25回 | 昭48年卒 |
| 会計 | 武藤 富美子 | 高20回 | 昭43年卒 |
| 〃 | 鴨居 邦子 | 高21回 | 昭44年卒 |
| 理事 | 山田 勝彦 | 旧11回 | 昭21年卒 |
| 〃 | 内藤 一彦 | 高2回 | 昭25年卒 |
| 〃 | 黒沢 愛治 | 高3回 | 昭26年卒 |
| 〃 | 田中 克子 | 高14回 | 昭37年卒 |
| 〃 | 田中 勝 | 高14回 | 昭37年卒 |
| 監事 | 長谷部 建司 | 高16回 | 昭39年卒 |
| 〃 | 池上 洋平 | 高59回 | 平19年卒 |

◇同窓会選任法人理事

| 役職 | 氏名 | 卒業回 | 卒業年 | 選任条項 |
|----|-------|------|-------|------------|
| 理事 | 山口 善衛 | 旧4回 | 昭15年卒 | 寄付行為第6条第四号 |
| 〃 | 濱野 益男 | 高4回 | 昭27年卒 | 寄付行為第6条第五号 |
| 〃 | 中島 憲 | 高17回 | 昭40年卒 | 〃 |

◇同窓会選任法人評議員

| 役職 | 氏名 | 卒業回 | 卒業年 | 選任条項 |
|-----|-------|------|-------|-------------|
| 評議員 | 山口 善衛 | 旧4回 | 昭15年卒 | 寄付行為第22条第五号 |
| 〃 | 福与 孫十 | 高1回 | 昭23年卒 | 〃 |
| 〃 | 内藤 一彦 | 高2回 | 昭25年卒 | 〃 |
| 〃 | 坂本 利男 | 高8回 | 昭31年卒 | 〃 |
| 〃 | 田中 克子 | 高14回 | 昭37年卒 | 〃 |
| 〃 | 根本 明 | 高16回 | 昭39年卒 | 〃 |
| 〃 | 山田 実 | 高25回 | 昭48年卒 | 〃 |

八王子学園同窓会

事務局

〒193-0931

東京都八王子市台町4-35-1

八王子学園八王子中学校・高等学校内

TEL 042-623-3461

FAX 042-626-5646

URL <http://www.hachioji.ed.jp/>